

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 東海財務局長

**【提出日】** 平成25年11月8日

**【四半期会計期間】** 第30期第2四半期(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

**【会社名】** 株式会社ビーイング

**【英訳名】** Being Co., Ltd.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 末広 雅洋

**【本店の所在の場所】** 三重県津市桜橋1丁目312番地

**【電話番号】** (059) 227-2932

**【事務連絡者氏名】** 常務取締役管理本部長 後藤 伸悟

**【最寄りの連絡場所】** 三重県津市桜橋1丁目312番地

**【電話番号】** (059) 227-2932

**【事務連絡者氏名】** 常務取締役管理本部長 後藤 伸悟

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	会計期間	第29期 第2四半期 連結累計期間	第30期 第2四半期 連結累計期間	第29期
		自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高	(千円)	1,756,355	2,205,954	3,630,735
経常利益	(千円)	81,598	265,989	220,080
四半期(当期)純利益	(千円)	49,619	169,197	185,175
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	50,466	167,502	191,388
純資産額	(千円)	1,906,640	2,175,740	2,047,562
総資産額	(千円)	4,415,262	4,935,030	4,714,297
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	6.31	21.51	23.54
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	43.2	44.1	43.4
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	167,977	462,217	248,945
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	63,598	81,879	237,954
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	31,391	39,344	32,082
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	1,080,869	1,326,804	985,811

回次	会計期間	第29期 第2四半期 連結会計期間	第30期 第2四半期 連結会計期間
		自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	3.80	3.59

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2 【事業の内容】

当社グループは、当社及び連結子会社（株式会社プラスバイプラス）の2社で構成されており、主に業務用パッケージソフトウェアの企画・開発及びそれに伴うネットワーク関連サービスの提供を行っております。

なお、当社は、本年5月に株式会社アイデアマンより一括見積りサイト運営事業を譲受け、サービスを開始いたしました。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われていません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済対策や日本銀行の金融政策によって円安・株高が進むとともに、企業収益が改善傾向となりました。建設業においても、公共投資が増加しており、設備投資に回復の兆しが見られます。

そのような状況の中、当社グループでは、主力商品のバージョンアップ販売を着実に進めるとともに、関連製品の販売拡大に取り組んでまいりました。また、5月には株式会社アイデアマンより一括見積りサイト運営事業を譲り受け、インターネットを利用したマッチング・ビジネスに参入するなど、新規事業領域に対しても積極的に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、前年同期に比して25.6%増加し2,205百万円となりました。

経費面では、売上の増加にともない売上原価が、一括見積りサイト運営事業の開始にともない販売費が、それぞれ増加しております。この結果、経常利益は前年同期に比して184百万円増加し265百万円となりました。また、四半期純利益は、前年同期に比して119百万円増加し169百万円となりました。

セグメント別の概況は次の通りであります。

#### (建設関連事業)

建設関連事業につきましては、主力の土木工事積算システムの販売が堅調に推移していることに加えて、5月から一括見積りサイト運営事業を開始したこと、また、情報共有システムやプロジェクト・マネジメント関連の販売が着実に伸びたことなどから、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比して23.8%増加し1,662百万円となりました。

利益面では、売上の増加にともなう売上原価の増加や、一括見積りサイトにユーザーを誘導するための販売費が加わったことから販売費及び一般管理費が増加しております。この結果、セグメント利益は前年同期に比して137百万円増加し159百万円となりました。

#### (設備関連事業)

設備関連事業につきましては、水道設備および電気設備CADシステムの販売に加えて、当期より新たに有償サポート・サービスを開始し、顧客満足の向上と差別化に努めてまいりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比して31.5%増加し543百万円となりました。セグメント利益は72.5%増加し110百万円となりました。

## (2)財政状態の分析

### (資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて220百万円増加し、4,935百万円となりました。これは主に、現金及び預金が348百万円、のれんが37百万円それぞれ増加し、受取手形及び売掛金が180百万円減少したことなどによるものです。

### (負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて92百万円増加し、2,759百万円となりました。これは主に、賞与引当金が46百万円、長期前受収益が38百万円、未払法人税等が35百万円それぞれ増加し、未払金を含むその他の流動負債が43百万円減少したことなどによるものです。

### (純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて128百万円増加し、2,175百万円となりました。これは主に、四半期純利益169百万円を計上し、39百万円を配当したことにより、利益剰余金が129百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて0.7ポイント増加し、44.1%となりました。

## (3)キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて340百万円増加し、1,326百万円となりました。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動により獲得した資金は462百万円（前年同四半期は167百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益265百万円や売上債権の減少額180百万円、賞与引当金の増加額46百万円などの収入、法人税等の支払額90百万円などの支出があったことによるものです。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動により支出した資金は81百万円（前年同四半期は63百万円の支出）となりました。これは主に、一括見積りサイト運営事業ののれんの取得による支出52百万円、有形固定資産および無形固定資産の取得による支出18百万円などがあったことによるものです。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動により支出した資金は39百万円（前年同四半期は31百万円の支出）となりました。これは主に、配当金の支払額38百万円によるものです。

## (4)研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は13百万円であります。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	24,000,000
計	24,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月8日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	8,257,600	8,257,600	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は1,000株であります。
計	8,257,600	8,257,600		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年7月1日 ~ 平成25年9月30日		8,257,600		1,586,500		

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
有限会社トゥールース	三重県津市半田1113 2	2,850	34.51
津田能成	三重県津市	1,496	18.11
ビーイング従業員持株会	三重県津市桜橋1 312	412	4.99
株式会社ビーイング	三重県津市桜橋1 312	392	4.75
津田由美子	三重県津市	299	3.62
株式会社三重銀行	三重県四日市市西新地7 8	132	1.59
日本証券金融株式会社	東京都中央区日本橋茅場町1 - 2 - 10	91	1.10
株式会社百五銀行	三重県津市岩田21 27	90	1.08
西井弥生	三重県松阪市	70	0.84
後藤伸悟	三重県津市	57	0.69
計		5,890	71.33

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 392,000		単元株式数は1,000株であります。
完全議決権株式(その他)	普通株式 7,859,000	7,859	同上
単元未満株式	普通株式 6,600		同上
発行済株式総数	8,257,600		
総株主の議決権		7,859	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式715株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ビーイング	三重県津市桜橋1 312	392,000		392,000	4.74
計		392,000		392,000	4.74

2 【役員の状況】

該当事項はありません。



## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、太陽A S G有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

なお、従来から当社が監査証明を受けている霞が関監査法人は、平成25年10月1日をもって太陽A S G有限責任監査法人と合併し、名称を太陽A S G有限責任監査法人に変更しております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,544,811	1,893,604
受取手形及び売掛金	<sup>1</sup> 708,280	527,414
有価証券	715,730	715,745
商品及び製品	1,057	1,013
仕掛品	1,040	-
原材料及び貯蔵品	5,756	10,997
繰延税金資産	273,741	298,814
その他	33,874	30,510
貸倒引当金	350	1,250
流動資産合計	3,283,942	3,476,851
固定資産		
有形固定資産	248,744	246,064
無形固定資産		
のれん	330,706	367,818
その他	55,329	54,133
無形固定資産合計	386,035	421,951
投資その他の資産		
投資有価証券	470,168	470,375
その他	329,896	324,428
貸倒引当金	4,490	4,640
投資その他の資産合計	795,574	790,163
固定資産合計	1,430,354	1,458,179
資産合計	4,714,297	4,935,030
負債の部		
流動負債		
買掛金	63,743	57,832
未払法人税等	95,243	130,491
前受収益	696,143	701,371
賞与引当金	130,333	176,957
その他	281,583	238,096
流動負債合計	1,267,047	1,304,748
固定負債		
退職給付引当金	365,214	385,798
繰延税金負債	428	609
長期前受収益	1,028,296	1,066,396
その他	5,747	1,737
固定負債合計	1,399,687	1,454,541
負債合計	2,666,735	2,759,290

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,586,500	1,586,500
資本剰余金	197,982	197,982
利益剰余金	419,592	549,466
自己株式	85,682	85,682
株主資本合計	2,118,393	2,248,266
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	70,831	72,526
その他の包括利益累計額合計	70,831	72,526
純資産合計	2,047,562	2,175,740
負債純資産合計	4,714,297	4,935,030

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	1,756,355	2,205,954
売上原価	462,025	556,317
売上総利益	1,294,330	1,649,637
販売費及び一般管理費	<sup>1</sup> 1,219,297	<sup>1</sup> 1,390,148
営業利益	75,032	259,488
営業外収益		
受取利息	6,044	6,560
受取配当金	152	172
雑収入	1,923	1,001
営業外収益合計	8,120	7,733
営業外費用		
支払利息	25	25
障害者雇用納付金	1,440	480
雑損失	88	727
営業外費用合計	1,554	1,233
経常利益	81,598	265,989
特別損失		
固定資産除却損	1,291	38
事務所移転費用	13,106	138
特別損失合計	14,398	177
税金等調整前四半期純利益	67,200	265,811
法人税、住民税及び事業税	29,081	121,714
法人税等調整額	11,500	25,100
法人税等合計	17,581	96,614
少数株主損益調整前四半期純利益	49,619	169,197
四半期純利益	49,619	169,197

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	49,619	169,197
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	132	1,695
為替換算調整勘定	979	-
その他の包括利益合計	847	1,695
四半期包括利益	50,466	167,502
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	50,466	167,502
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	67,200	265,811
減価償却費	17,402	19,913
のれん償却額	10,554	14,887
貸倒引当金の増減額(は減少)	50	1,050
賞与引当金の増減額(は減少)	23,124	46,624
退職給付引当金の増減額(は減少)	21,950	20,584
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	501	3,524
受取利息及び受取配当金	6,196	6,732
支払利息	25	25
固定資産除却損	1,291	38
事務所移転費用	13,106	138
売上債権の増減額(は増加)	32,978	180,865
たな卸資産の増減額(は増加)	3,169	4,156
仕入債務の増減額(は減少)	10,950	5,911
未払又は未収消費税等の増減額	6,505	5,424
前受収益の増減額(は減少)	5,874	5,228
長期前受収益の増減額(は減少)	2,873	38,099
その他	12,433	26,147
小計	192,697	552,219
利息及び配当金の受取額	5,761	5,564
利息の支払額	25	25
移転費用の支払額	13,106	8,094
法人税等の支払額	18,198	90,404
法人税等の還付額	849	2,958
営業活動によるキャッシュ・フロー	167,977	462,217
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	168,000	175,800
定期預金の払戻による収入	118,000	168,000
有価証券の取得による支出	100,161	124
有価証券の償還による収入	100,000	-
有形固定資産の取得による支出	27,054	7,609
無形固定資産の取得による支出	25,940	10,400
投資有価証券の取得による支出	1,770	1,751
のれんの取得による支出	-	52,000
敷金及び保証金の差入による支出	1,685	2,185
敷金及び保証金の回収による収入	43,118	97
保険積立金の積立による支出	104	104
投資活動によるキャッシュ・フロー	63,598	81,879
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	485	485
自己株式の取得による支出	11	-
配当金の支払額	30,894	38,858
財務活動によるキャッシュ・フロー	31,391	39,344
現金及び現金同等物に係る換算差額	789	-
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	73,777	340,993
現金及び現金同等物の期首残高	972,867	985,811
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	34,225	-

現金及び現金同等物の四半期末残高	1	1,080,869	1	1,326,804
------------------	---	-----------	---	-----------

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<p>1 期末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。</p> <p>なお、当連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の期末日満期手形が、期末残高に含まれております</p> <p>受取手形 2,992千円</p>	

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<p>1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <p>給料及び手当 503,814千円</p> <p>賞与引当金繰入額 96,484千円</p> <p>退職給付費用 16,631千円</p>	<p>1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <p>給料及び手当 549,272千円</p> <p>賞与引当金繰入額 132,955千円</p> <p>退職給付費用 15,040千円</p>

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<p>1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係</p> <p>現金及び預金 1,639,869千円</p> <p>預入期間が3か月超の定期預金 559,000 "</p> <p>現金及び現金同等物 1,080,869千円</p>	<p>1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係</p> <p>現金及び預金 1,893,604千円</p> <p>預入期間が3か月超の定期預金 566,800 "</p> <p>現金及び現金同等物 1,326,804千円</p>



(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月11日 取締役会	普通株式	31,459	4.0	平成24年3月31日	平成24年6月14日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月10日 取締役会	普通株式	39,324	5.0	平成25年3月31日	平成25年6月13日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表計上額 (注) 2
	建設関連事業	設備関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,342,771	413,583	1,756,355		1,756,355
セグメント間の内部 売上高又は振替高	13,690		13,690	13,690	
計	1,356,461	413,583	1,770,045	13,690	1,756,355
セグメント利益	21,506	64,080	85,586	10,554	75,032

(注) 1 セグメント利益の調整額は、のれん償却額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表計上額 (注) 2
	建設関連事業	設備関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,662,042	543,912	2,205,954		2,205,954
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,799	800	2,599	2,599	
計	1,663,841	544,712	2,208,554	2,599	2,205,954
セグメント利益	159,496	110,546	270,042	10,554	259,488

(注) 1 セグメント利益の調整額は、のれん償却額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	6.31円	21.51円
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	49,619	169,197
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	49,619	169,197
普通株式の期中平均株式数(千株)	7,864	7,864

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月7日

株式会社ビーイング  
取締役会 御中

太陽A S G有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 森 内 茂 之 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 笹 川 敏 幸 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ビーイングの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ビーイング及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。